

松山大学の動物実験実施に関する取組み(2020年度)

飼養保管施設の名称：松山大学薬学部動物実験施設

機関内規程

- ・松山大学動物実験実施規程(2019年10月24日改正)
- ・松山大学薬学部動物実験施設規約(2018年2月6日改訂)
- ・松山大学薬学部動物実験施設における地震や火災等の災害発生時の緊急対応マニュアル(2018年2月6日改訂)

動物実験関連情報

- ・自己点検評価の結果
2020年度動物実験に関わる自己点検・評価報告書
- ・外部検証結果の公開
動物実験に関する外部検証結果報告書(2018年度に受審)
- ・使用及び保管の状況
 - 1)動物種
マウス・ラット・ハムスター
 - 2)飼養数
2021年3月31日現在 マウス：146匹、ラット：22匹、ハムスター：0匹
 - 3)施設の情報
 - A) 飼養保管施設の総数：1
 - B) 主な飼養保管施設：9号館10階
 - 4)その他
 - ・実験計画書の承認数：2020年度14件
 - ・教育訓練の実施実績：2020年6月1日・6月15日 各約1時間 79名
 - ・教育訓練の主な内容：
 - ①関連法令、指針、本学の定める規定など
 - ②実験動物の飼養・保管に関する基本的事項
 - ③動物実験の手技に関する基本的事項
 - ④3Rの原則を含む適切な動物実験の実施計画に関する事項
- ・2020年度動物実験委員会名簿
 - 委員長：薬学部准教授1名
 - 実験動物に関して優れた識見を有する者：薬学部教授1名
 - 動物実験等に関して優れた識見を有する者：薬学部教授2名・准教授1名
 - その他学識経験を有する者：経営学部教授1名